

第 60 回大気環境学会年会のお知らせ（第 5 報）

第 60 回大気環境学会年会を下記のとおり開催します。多数の会員のご参加をお待ちしております。

会期：2019 年 9 月 18 日（水）～20 日（金）

会場：東京農工大学府中キャンパス（〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8）

年会ホームページ：<https://conv.toptour.co.jp/2019/jsae60/>

【注意点】

- ラグビーワールドカップが 9 月 20 日より開催され、東京でも試合が行われます。これに伴い周辺地域の宿泊場の予約が困難となることが予想されますので、早期の確保をお願いします。
- 例年通り、当日支払いの参加費は高額となりますので、事前払込（期限：7 月 31 日）をお勧めします（事前払込：正会員、賛助会員、法人会員 B 7,500 円、学生会員 3,500 円、当日支払：正会員、賛助会員、法人会員 B 10,000 円、学生会員 5,000 円）。
- 事前参加登録者には年会ホームページから講演要旨集の PDF ファイルをダウンロードできるようにします。今回の年会では講演要旨集（冊子体）は配布せず、プログラム集（冊子体）を配布します（事前送付は行いません）。なお、法人会員 B および賛助会員へは、プログラム集に講演要旨集 CD を添付して配布します。
- 環境機器展で技術セミナーを開催する予定です。
- ポスター発表では希望する学生・若手研究者を対象に、優れた発表を表彰します。

1. プログラム（予定）

日程	午前	午後	夕方
9 月 18 日(水)	一般研究発表(口頭)、特別集会	一般研究発表(口頭)、ポスター発表、日中韓国 際交流シンポジウム	分科会
9 月 19 日(木)	一般研究発表(口頭)、特別集会	総会、受賞記念講演、60 周年記念シンポジウム	懇親会
9 月 20 日(金)	一般研究発表(口頭)、特別集会	一般研究発表(口頭)、市民集会	

*期間中は全日、環境機器展を開催します。様々な最新機器が展示されますので情報収集などの機会としてご参加下さい。

2. 年会参加登録

2.1.年会参加登録方法

年会ホームページからの参加登録とします。登録後に確認のメールが自動送信されますので内容をご確認下さい。

2.2.年会参加費並びに懇親会費及び事前払込割引（期限 7月 31日（水））

当日支払いの参加費は高額となりますので、できるだけ事前払込(期限：7月 31日)をお願いします。また、参加費にはプログラム集および講演要旨集代が含まれています。年会ホームページの案内に従って、クレジットカード、または銀行振込みでお支払い下さい。

懇親会会場は次報及び年会ホームページ上でお知らせします。

	参加費		懇親会費	
	事前払込	当日	事前払込	当日
正会員	¥7,500	¥10,000	¥10,000	¥12,000
賛助会員	¥7,500/人	¥10,000/人	¥10,000	¥12,000
法人会員 B	¥7,500/人	¥10,000/人	¥10,000	¥12,000
学生会員	¥3,500	¥5,000	¥5,000	¥6,000
法人会員 A	¥10,000	¥12,000	¥10,000	¥12,000
名誉会員	招待		¥10,000	¥12,000
非会員	¥10,000	¥12,000	¥10,000	¥12,000

2.3.参加費払込み後の取り消し

参加費、懇親会費を払込み後の取り消しは、受け付けできませんので、ご了承下さい。

2.4.講演要旨集（PDF ファイル）について

参加登録者は、年会ホームページで講演要旨集の PDF ファイルを閲覧、ダウンロードできるようにします。

2.5.プログラム集の送付について

プログラム集(冊子体)は当日配布とし、事前送付はいたしません。なお、今回の年会では講演要旨集(冊子体)は配付いたしません。年会に参加せず、プログラム集および講演要旨集のみの購入をご希望の場合は、3.6をご参照ください。

2.6.プログラム集および講演要旨集のみの販売

年会に参加せず、プログラム集(冊子体)および講演要旨集(PDF ファイル)の購入のみ希望の方は、年会ホームページの案内に従って申込み、代金を払い込んで下さい (1式 5,000円・送料込み)。発送は9月上旬頃の予定です。

2.7. 個人情報の取り扱いについて

参加登録者から取得した個人情報は、年会の運営に係わる適正な利用範囲（事務局からの問い合わせ、補助金申請のための名簿作成等）に限り使用し、他にご本人の同意なく第三者に提供することはありません。

3. 60周年記念シンポジウム「気候変動に伴う大気環境変化とその影響」

日時：9月19日（木）15:00～18:00

講演者および演題：

基調講演：中島 映至（JAXA 地球観測研究センター・チーフサイエンティスト）

「温暖化と地球環境に関わる諸問題：大気科学からの視点」

高澤 哲也（環境省大気環境課長）

「大気汚染防止法施行50年（取組の現状と今後の課題）」

向井 人史（国立環境研究所気候変動適応センター長）

「気候変動適応法と大気環境」

伊豆田 猛（東京農工大学教授）

「大気環境変化とその植物影響」

杉山 大志（キャノングローバル戦略研究所研究主幹）

「地球温暖化問題のテクノロジーによる解決」

4. 日中韓国際交流シンポジウム「For a better understanding of air pollution in East Asia」

日時：9月18日（水）13:00～16:00

講演者および演題：

畠山 史郎（アジア大気汚染研究センター）

「EANET and ACAP activity for a better understanding of East Asian atmospheric environment」

Taehyoung Lee（Hankuk University of Foreign Studies）

「Observation of Secondary Aerosol Formation using Oxidation Flow Reactor in various Environments」

Hong Li（Chinese Research Academy of Environmental Sciences）

「Progress of near-ground-ozone pollution control in China」

Xiaoyang Yang（Chinese Research Academy of Environmental Sciences）

「The applications of air pollution monitoring platform of drone in air pollution」

profiling in southern Beijing」

板橋 秀一（電力中央研究所）

「An approach from model simulation toward our better understanding on air pollutants behavior over East Asia」

Ken-Hui Chang（National Yunlin University of Science and Technology）

「A modeling study on resolving the contribution of regional sources to atmospheric PM2.5 in Taiwan」

Seongjun Kim（Ulsan National Institute of Science and Technology）

「Source identification, ozone formation potential, and secondary organic aerosol formation of VOCs in Seoul, South Korea」

Di Wang（Chinese Research Academy of Environmental Sciences）

「Variation Characteristic of Volatile Organic Compounds Pollution in typical Solvent-using industry」

Kyung Il Cho（Pusan National University）

「Morphology Effects of Magnesium Oxide Nanoparticles on Mineral Carbonation as Carbon Dioxide Adsorbents」

Sangjin Lee（Ulsan National Institute of Science and Technology）

「Pollution characteristics of PM2.5 during high concentration periods in the multi-industrial city of Ulsan, South Korea」

5. 特別集会・分科会

5.1. 特別集会

	タイトル	開催日時	担当者（所属）
1	大気エアロゾル研究における有機成分分析を活用した研究展開	9月18日（水） 9:00～12:00	森野 悠（国立環境研究所） 佐藤 圭（国立環境研究所） 熊谷 貴美代（群馬県衛生環境研究所）
2	光化学オキシダント・PM2.5 低減のための大気質モニタリング	9月19日（木） 9:00～11:40	齊藤 伸治（東京都環境科学研究所） 島田 敦之（香川県環境保健研究センター）
3	気候変動に伴う大気環境変化と自治体の対応について	9月20日（金） 9:00～11:00	高見 昭憲（国立環境研究所）
4	HOx ラジカルとエアロゾルの相互作用とその生体影響の可能性	9月20日（金） 9:00～11:30	高野 裕久（京都大学） 梶井 克純（京都大学・国立環境研究所） 村野 健太郎（京都大学）

5.2. 分科会 開催日時 9月18日（水）16:10～19:00

分科会	テーマ	担当者（所属）
-----	-----	---------

1	酸性雨分科会	酸性雨調査研究を振り返り、今後の展望を考える	藍川 昌秀（北九州市立大学）
2	植物分科会	大気環境の変化が水田生態系に与える影響に関する最近の話題	青野 光子（国立環境研究所）
3	都市大気エアロゾル分科会	PM2.5 の 10 年を振り返る ―これからのエアロゾルと大気環境のために―	長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）
4	都市大気環境モデリング分科会	J-STREAM で分かったこと分からなかったこと	永島 達也（国立環境研究所）
5	室内環境分科会	室内環境の新しいみかた～特殊空間における空気質とセンシング～	青柳 玲児（(株) ガステック）
6	臭気環境分科会	最近の悪臭防止行政の動向と畜産農業・堆肥化施設の悪臭対策～環境省の事例集を中心に～	上野 広行（東京都環境科学研究所）
7	自動車環境分科会	移動発生源データにおける Misread の罫	柏倉 桐子（(一財) 日本自動車研究所）
8	健康影響分科会	新紀元健康影響問題：大気中浮遊粒子状物質に着目して	定金 香里（大分県立看護科学大学）
9	放射性物質動態分科会	福島県内における大気中放射性物質濃度の現状	反町 篤行（福島県立医科大学）

6. 市民集会（公開）

日時：9月20日（金）13:00～17:00（予定）

テーマ：大気環境データの国民への即時提供－観測と予測－

講演者および演題：

岡村 智明（一般財団法人 日本気象協会）

「民間気象会社によるリアルタイム情報提供の現状と課題」

上尾 一之（環境省）

「大気汚染物質広域監視システムの現状と課題」

菅田 誠治（国立環境研究所）

「大気汚染予測システム VENUS の現状と課題」

堀口 貴司（一般財団法人 日本気象協会）

「民間気象会社からみた大気汚染予測システムへの期待」

7. 懇親会

日時：9月19日（木）19:00～21:00

会場：大國魂神社結婚式場（〒183-0023 東京都府中市宮町 3-1）

<http://www.ookunitamajinja-wedding.jp/wedding/index.html>

懇親会会場は学会会場から近距離にありますので、ぜひご参加ください。

*学会会場から徒歩で約 20 分、路線バスを利用される場合は、京王バス『府中駅行』にて
晴見町（東京農工大学前）乗車→府中駅（終点）にて下車後、徒歩約 5 分です。

8. 環境機器展・技術セミナー

大気環境関連の計測機器、分析機器、調査システム、自治体による環境問題への取組等の展示と説明を行います。

〈環境機器展〉

日時：9月18日（水）～20日（金） 9:00～17:00（最終日は15:00終了予定）

〈技術セミナー〉

各日の昼の時間帯を中心に、環境機器展出展企業等による技術セミナーを開催します。会場内にはセミナー参加者用に数量限定で弁当・飲み物を用意します。

9. 問い合わせ先など

年会に関する情報や不明な点については下記までお問い合わせ下さい。

【年会ホームページアドレス】 <https://conv.toptour.co.jp/2019/jsae60/>

【第60回大気環境学会年会に関するお問い合わせ先】

東京農工大学 農学部環境資源科学科

第60回大気環境学会年会事務局

〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8

TEL/FAX：042-367-5728（伊豆田研究室）

Email: jsae60@m2.tuat.ac.jp

【参加登録に関するお問い合わせ先】

東武トップツアーズ(株)東京国際事業部

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 16階

TEL：03-5348-3897

FAX：03-5348-3799

Email：jsae60@tobutoptours.co.jp

営業時間：平日 9:30～18:30 土日・祝日休業